



Information

病理標本画像の保管・共有のワークフローを効率化

病理クラウドサービス「Nikon Pathology Cloud Service」[※]の提供を開始

2023年4月12日

株式会社ニコン(社長:馬立 稔和、東京都港区)の子会社、株式会社ニコンソリューションズ(社長:園田 晴久、東京都品川区)は、病理標本画像の保管・共有のワークフローを効率化する病理クラウドサービス「Nikon Pathology Cloud Service(ニコン パソロジー クラウド サービス)」[※]の提供を開始します。

なお、ニコンソリューションズは、病理学に関連する医療従事者や研究者、企業が一堂に会する「日本病理学会総会」(2023年4月13日～15日、於:山口県)に出展し、本サービスを紹介いたします。

※本サービスは、人もしくは動物の疾病の診断、治療もしくは予防に使用されることを想定しておりません。

サービス概要

商品名	病理クラウドサービス「Nikon Pathology Cloud Service」
サービス提供開始時期	2023年6月

医療機関や研究機関などの病理標本を大量に扱う施設においては、標本の管理やスペースの確保に課題があります。加えて、病理画像の解析などにおいて、データを供覧しながら他の病理医に意見を求めるといったコミュニケーションを行うニーズが高まっています。

こうした課題やニーズに対し、ニコンは、デジタル化した病理標本画像をクラウド上で保管・共有して、業務を効率化するとともに、さまざまな画像データを円滑に供覧できる、病理クラウドサービス「Nikon Pathology Cloud Service」を提供します。

主な特長

1. 病理標本画像の保管・共有の効率化に貢献

病理標本画像をクラウド上でデータ保管するため、検索が容易で、標本を物理的に保管するためのスペースを削減することが可能です。インターネットが利用できる環境であれば、いつでも、どこでも病理標本画像を閲覧でき、業務の効率化に貢献します。

2. データ供覧やカンファレンスの円滑化に寄与

本サービスは、病理標本画像とともに画像解析などに役立つ情報もあわせて共有することが可能です。さらに、ユーザビリティに配慮し、画像の拡大や縮小、回転などの操作をスピーディーに表示できるようにしました。これにより、複数の施設をつないだカンファレンスの円滑化にも寄与します。

3. さまざまな画像データに対応

ニコンの顕微鏡や顕微鏡用デジタルカメラで取得した画像データに加え、スライドガラス標本をデジタル化したバーチャルスライド (WSI : Whole Slide Image) を含め、病理標本のさまざまな画像データに対応しています。



この件に関する問い合わせ先

●報道関係の問い合わせ先

株式会社ニコン 経営管理本部 広報部
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

北村・巴
03-6433-3741

●お客様の問い合わせ先

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
140-0015 東京都品川区西大井 1-6-3 バイオサイエンス製品

福井・堀江
03-3773-8138

●ニコン・ホームページ

<https://www.jp.nikon.com/>

●ニコンソリューションズ・ホームページ

<https://www.nsl.nikon.com/jpn/>

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。